

授業科目名・形態	看護マネジメント論	講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石田 和子		実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

看護において管理の概念や知識は、看護管理者だけに必要なものではなく、業務を行う上で、責任を持つすべての看護職に必要な概念として捉えられるようになった。超高齢化社会に突入し、看護職は、「医療」と「生活」の両方の視点を持って全体をマネジメントする能力が求められる。また、組織の一員としての責務を理解し、チーム医療でのリーダーシップ・メンバーシップを発揮することも重要である。多様性・複雑性に対応した看護を創造するために看護管理について学び、看護をよりよく変えていく基礎となる知識を深める。

【到達目標】

- 組織と個人の関係性を理解し、看護サービス提供の仕組みを知る
- 看護サービスの質とその保障について考えることができる
- リスクマネジメントの視点から医療事故防止対策の考え方を理解する
- 専門職としての看護の役割機能とキャリア開発の意義について理解する
- 看護職として働き続けるために労働安全衛生の基本的な考え方を知る

【授業計画・内容】

- 第1回 看護サービス管理と看護提供方式
- 第2回 医療機関の組織形態と目標管理
- 第3回 看護と経営管理
- 第4回 看護サービスの質保証
- 第5回 リスクマネジメント
- 第6回 人的資源管理—キャリア開発
- 第7回 人的資源管理—労務管理
- 第8回 専門職の責務と倫理

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

看護管理学のテキストに目を通しておく。

【主な関連する科目】

「看護学概論」「看護倫理学」

【教科書等】

手島恵 看護管理学 南江堂 2018

【参考文献】

- 小池智子、松浦正子、中西睦子（編集）：看護サービス管理 第5版、医学書院、2018
- 原玲子 著：目標管理の実践・評価ワークブック 第2版、日本看護協会出版会、2018
- 高平仁史 著：働き方改革時代の労務管理、メディカ出版、2019

【成績評価方法】

筆記試験 100%で評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域の二次医療を担う中核的病院で看護師長を4年、副看護部長を4年、看護部長として3年目を迎え、現在も現役で勤務している。

病棟師長の視点からのマネジメント、看護部長として病院全体をみる視点でのマネジメントの基本的な考え方や具体的な事例を紹介しながら、看護管理の概念を学んでもらう。

【学生へのメッセージ】

看護管理は、管理者が学ぶべきスキルと思われるがちであるが、質の高い継続した看護を提供していくためには、ケアに携わる看護職ひとり一人が、看護をマネジメントできる能力を身につける必要があります。問題意識を持ち、どうすればそれが改善されるのかを考える力の元になる学習にしたいと思います。